

## JCCP 直轄研修\_カスタマイズドコースプログラム実施概要

コース No. CPJ-5-18                      2018 年 7 月 24 日 - 8 月 1 日

コース名 : プログラムフォーミュレーションコース (PFC)

担当者 : 北原ますみ

### <会議設立の背景と目的>

天然ガスと LNG をテーマとし、今後の人材育成事業・技術協力事業に向け、実施内容について協議し、アクションプランをつくることを目的とする。インドネシア・ミャンマー・ベトナムの人材部門窓口と各部門の専門家と JCCP プログラム (TR, IT, CPJ, CPO) 及び技術協力について意見交換を行うと共に、各組織のニーズを聴取し把握する。その結果を今後の事業に反映させる。参加組織の概要、人材育成等などについての情報を得る。また人脈の構築を強化する。更に、賛助会員企業が将来の事業展開に向けて関係強化を図るため、面談等の機会を設ける。

### <会議内容>

PERTAMINA, MIGAS (インドネシア)、MOEE (ミャンマー)、MOIT, Petrovietam, Petrolimex (ベトナム) から人事部門と LNG・天然ガス部門のそれぞれの実務担当者と責任者を招聘し、以下の内容で実施した。

- (1) 事前に回収した要望書を基に、事業別・組織別に協議を行い、人材育成事業および技術協力事業の実施計画を明確にした。
  - ①人材開発事業
    - ・ 2018・2019 年度の人材育成計画の説明と概要紹介
    - ・ 2018・2019 年度の CPO/CPJ の要望の確認と実施に向けた協議
    - ・ JCCP 研修コースの特徴、他研修機関との違いについて説明
  - ②技術協力事業
    - ・ 技術協力 (基盤整備事業) の概要と説明
    - ・ 2018 年度の技術協力案件の説明と紹介及び課題や要望の確認
- (2) 協議をとおして、JCCP スタッフとの信頼関係の構築、および日本及び JCCP 事業活動に対する理解度の向上を図った。
- (3) 参加者のプレゼンテーションにより、各組織の LNG・天然ガス事情と人材育成等を把握した。
- (4) 会員会社のビジネス展開のため、個別面談の時間を設けた。

**<まとめ>** インドネシア、ミャンマー、ベトナムの個別面談にて、それぞれの要望と JCCP 側の提案のすり合わせを行ったことにより、今後のカスタマイズド研修や技術協力事業の実施に向け、更に深く協議することができた。また、face to face で話すことにより、JCCP スタッフとの信頼関係の構築と JCCP 事業活動に対する理解度の向上を図ることができた。

**<実地研修先>** 大阪ガス株式会社 姫路製造所  
三菱日立パワーシステムズ株式会社 高砂工場

**<参加国>** 3カ国 (国名) インドネシア、ミャンマー、ベトナム / 合計 14 名



JCCP 各部との打ち合わせ  
(技術協力部+ミャンマー)

2018 07 31



JCCP 各部との打ち合わせ  
(人材開発部+インドネシア)

2018 07 31



参加者によるプレゼン(インドネシア)

参加者によるプレゼン(ベトナム)



三菱日立パワーシステムズ(株)高砂工場 訪問



# プログラムフォーミュレーションコース（PFC）インドネシア・ミャンマー・ベトナム — 天然ガス & LNG —

JCCP  
Japan Cooperation Center, Petroleum



CPJ-5-18, 2018年7月24日—8月1日

## JCCP 閉講式でのご挨拶


おはようございます。専務、JCCPの皆様、参加者の皆様。

まず、インドネシア代表団を代表して、感謝の言葉を述べたいと思います。日本では大変楽しい時を過ごすことができました。特に LNG・天然ガス事業では、JCCP と関連企業における講義や現地視察、会合を通じて、多くの有益な知見を得ました。また、インドネシアに多くの知識を持ちかえることができます。

今日は JCCP プログラムの最終日です。このコースにおいて、JCCP と私たちにとって目的を達成できたことは明らかです。プログラムは今日終了しますが、ここで終わるわけではありません。私たちは、来年のプログラムの実施に向け、インドネシアと JCCP の今後の協力を楽しみにしています。

もう一度、JCCP に感謝し、参加者の皆様が無事に帰国できることを願っています。

そして、いつかまたお会いしましょう。

A portrait of a woman wearing a grey hijab and a brown patterned batik top. She is looking slightly to the right of the camera. In the background, a Japanese flag is visible on a stand.

Ms. Yeni Yuliana, PT Pertamina (Indonesia)

皆様、今日は私たちにとって非常に特別な一日です。

ミャンマーの参加者を代表してスピーチをします。まず、素晴らしい準備と運営をしてくださった JCCP の皆様、特に北原さん、石川さん、末永さんに感謝しております。

JCCP の CPJ プログラムでは、ガスバリューチェーン、LNG 事業、および LNG への電力供給について学ぶことができました。サイトツアーとして、大阪ガスの姫路製造所、三菱日立パワーシステムズ高砂工場を実際に見学しました。また、世界遺産の姫路城、金閣寺、日本の古都である京都を訪れ、着物ショーを見ました。私たちは様々な場所を訪れ、有益な講義を受けたり、多くの知識を得たり、多くの学びがありました。どれもとても素晴らしい機会をいただきました。JCCP の CEO メッセージによると、JCCP は 1981 年に設立され、36 年にわたり石油およびガス生産国

から 24500 人以上の研修参加者を受け入れてきました。実際、エネルギー分野の技術的知識共有における JCCP の優れた努力と成功を高く評価すると共に、石油・ガス生産国に対する絶え間ない支援に感謝します。私は、JCCP との優れた関係が今後も長く続くと信じており、JCCP がエネルギー分野において、益々多くの成功を収めてくれることを希望しています。最後に、参加者と JCCP の皆様、今後もこの友好関係が継続しますように！  
ありがとうございました！  
アリガトゴサイマス！



**Mr. Aung Min, Myanmar Oil and Gas Enterprise (MOGE)**


JCCP 中井専務、皆様、

まず、ベトナムを代表して、この非常に包括的かつ有益なプログラムをまとめていただいた、中井専務と JCCP の方々に、感謝申し上げます。プログラム期間中、私たちは世界中の天然ガスと LNG 開発に関する多くの知識と情報を得る事が出来ました。経済産業省、JCCP 各部署、JCCP 参加会社の方々から、大変興味深い講演があり、また私たち各国の、天然ガス・LNG セクターの開発計画について紹介する機会もあり、日本との更なる協力のための議論を交わす事が出来ました。

そのため、7 日間という短い期間にもかかわらず、そのような知識を得られたことは、私たちにとって非常に役に立ちました。天然ガスや LNG の経験から学ぶだけでなく、日本と日本の文化も学びました。姫路と京都のフィールドトリップからは、日本の歴史と文化を知る機会がありました。我々は、日本人の方々の優しさや「スーパー精神」に深く感銘し、本当に日本が大好きです。私たちは、日本と私たちの国（インドネシア、ミャンマー、ベトナム）との良好な関係が今後ますます強化されることを願っています。改めて、JCCP の支援に感謝いたします。そして日本滞在期間中にお世話をしてくださいました、北原さん、石川さん、末永さんに感謝いたします。

皆様のご健康、ご多幸、そしてご活躍をお祈りしています。

ありがとうございます。



**Ms. Ngo Thuy Quynh, Ministry of Industry and Trade, VietNam (MOIT)**